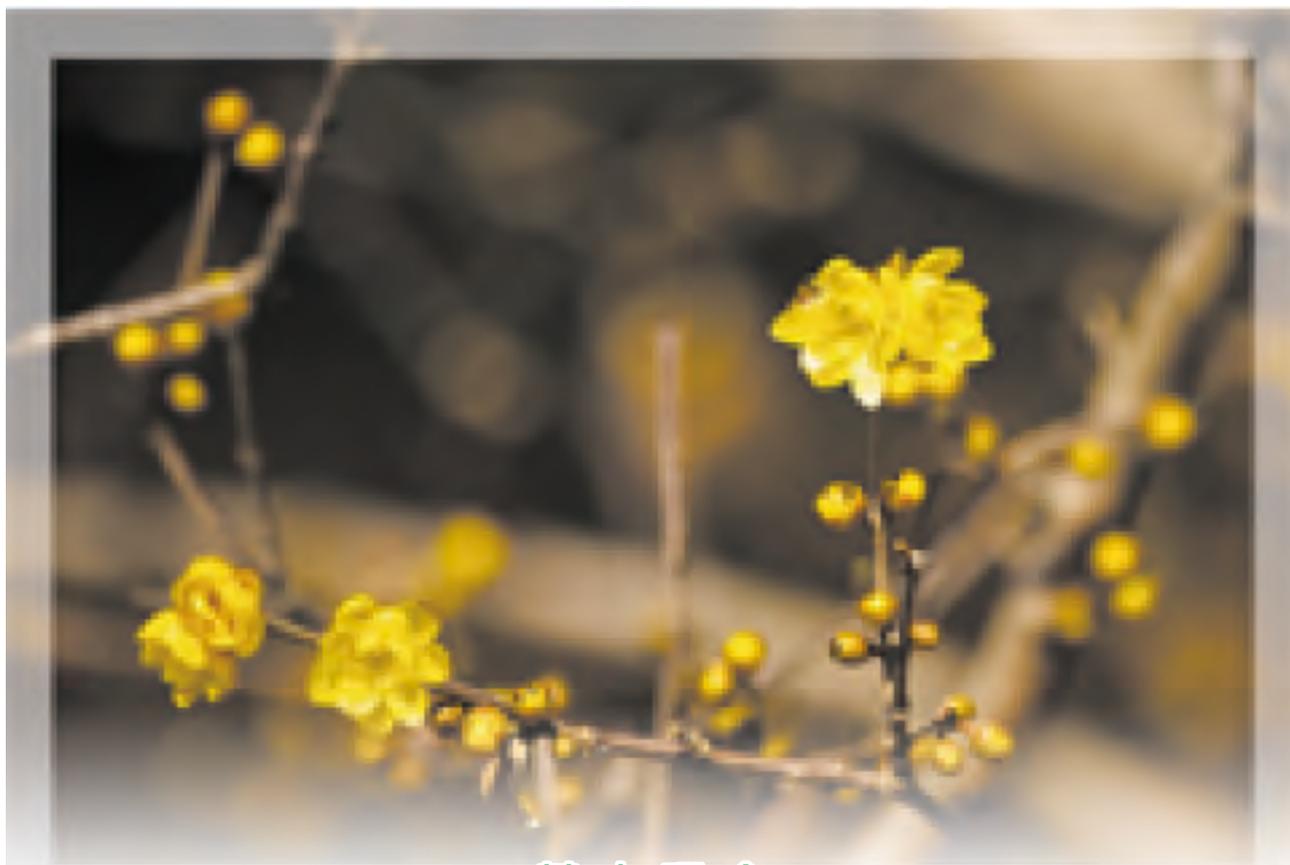




国立病院機構(NHO)宇都宮病院院内広報誌

わかあゆ

WAKA-AYU



基本理念

私たちは、地域から強く信頼される病院を目指します
そのために、誠実で前向きで勤勉であるよう努めます

謹賀新年



目次

20 **冬** 13

第26号

広報誌 / 年4回発行

発行：国立病院機構 宇都宮病院
発行日：平成 25年 1月 1日
発行責任者：沼尾 利郎

- 新年のご挨拶 1
- 第1回 NHO宇都宮病院連携医大会 2
- 電子カルテの導入について 3
- 第66回 国立病院機構総合医学会
「人工股関節置換術の脱臼予防に対する指導効果」に関する発表 4
- NSTにおける臨床検査技師の役割と課題-RTP院内検査導入に向けて 4
- 新型CT装置を導入しました 5
- 平成24年度 第1回目の市民公開講座が開催されました 5
- クリスマスコンサートに参加して 6
- 重症心身障害児(者)が参加する行事 6
- 外来診療担当医表 7

新年のご挨拶

— ネットワークとバックアップ —

院長 沼尾 利郎

あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

さて、去年は当院にとって変革の1年でした。1月には高性能のMRI(1.5テスラ)に更新し、4月には常勤・非常勤あわせて25名の職員を増員して医療の質の向上に対応しました。7月からは連携医制度をスタートさせ、11月には連携医大会を開催して太田栃木県医師会長や稲野宇都宮市医師会長にもご出席いただきました(写真)。お陰様で紹介率や逆紹介率は大幅にアップしており、病院の中期計画(ロードマップ)の1つである「地域医療支援病院」の承認も確実に視野に入ってきています。

一方、平成25年1月には電子カルテ導入と高解像能マルチスライスCT(64列)の稼働により、医療の効率化と高度化を目指します。さらに、「栃木県がん治療中核病院」の指定(平成24年12月27日)に伴い、増加する一方のがん患者さんに適切な医療を提供できるよう診療体制を一層充実させます。

このように変化の時代は今年も続く訳ですが、地域医療(がん・救急・認知症など)と政策医療(重症心身障害・神経難病・結核など)の実践におけるキーワードは「ネットワーク」と「バックアップ」です。なぜなら、関係者相互の密接な連携とそれを補完する支援体制が、「治す医療」と「支える医療」の両者にとって必要不可欠と考えるからです。

政治や時代がどんなに変わろうとも、私たちがなすべきことは変わりません。当院が目指すのは「安全で質の高い医療を患者さんの視点に立って提供すること」であり、「患者さんや地域から信頼され職員にとっても働き甲斐のある病院の実現」です。地域の医療機関や介護・福祉施設等との連携をより一層推進させながら、地域医療と政策医療に貢献すべく努力いたしますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



第1回 NHO宇都宮病院連携医大会

地域医療連携係長(看護師長) 塩澤由香

今年度、当院は地域医療連携の強化のために連携医登録を地域の先生方へお願いし、平成25年1月現在で県内177施設256名の先生方に連携医の登録を頂いています。連携医の先生方と、「顔の見える連携」を目指し、平成24年11月29日「第1回NHO宇都宮病院連携医大会」を当院で開催しました。当日は、お忙しい中、宇都宮市・さくら市・高根沢町の35名の連携医の先生方にお越し頂きました。45名の医師・看護師長・職員でお迎えし、会場となった第1会議室は熱気につつまれ、活気あふれる連携医大会になりました。

栃木県医師会会長太田照男先生よりご祝辞を頂き、宇都宮市医師会会長稲野秀孝先生の乾杯のご発声で大会は始まりました。各診療科より、「診療科紹介」と増田統括診療部長(地域医療連携室長)より「宇都宮病院の医療連携」について説明を行い、地域の先生方へNHO宇都宮病院をさらに知って頂きました。また、医療連携室で作成した連携医療機関の「リーフレット」のお披露目も行いました。現在は、薬局受付右側にリーフレット・ラックを設置しています。患者のみなさんが「かかりつけ医」を決める時にぜひ活用して頂きたいと思います。

懇親会では、連携医の先生と当院医師とが意見交換を行い、「顔の見える連携」に繋がる良い機会になりました。当日はノンアルコールでの会食でしたが、とても和やかに会が進行しました。

後日、連携医の先生方からも、「NHO宇都宮病院の方針が理解でき、医師・職員の意気込みを感じることができた」とご意見を頂きました。今後も、職員一丸となって患者のみなさんが安心して医療が受けられるように、地域の先生方と連携を深めていきたいと思っています。私たち地域医療連携室スタッフも、スムーズな連携が図れるように今後も努力していきたいと思っています。

沢山の方々の協力のもと、連携医大会が盛大に開催されたことに感謝いたします。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



電子カルテの導入について

経営企画室長 宮崎 厚

NHO 宇都宮病院は、平成 25 年 1 月 1 日より電子カルテの導入を開始します。

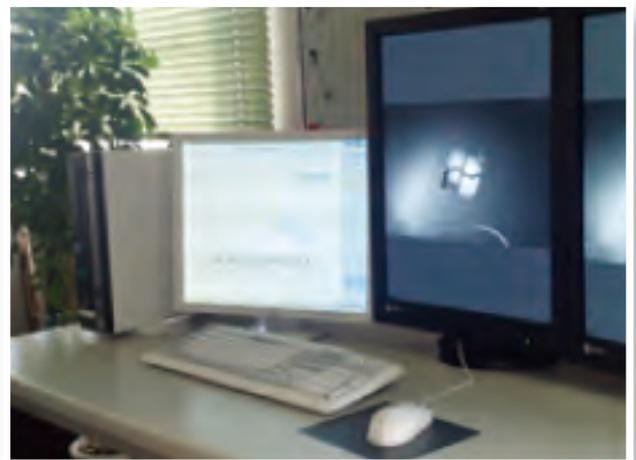
現在は、カルテ（診療録）、注射箋や処置伝票等は紙で運用しておりますが、これらが院内の各部門に設置されるコンピュータの端末の操作により、光ケーブルの専用回線を通じて指示内容等が関係の各部門（放射線科・検査科・薬剤科・リハビリ科や栄養給食部門など）へ伝わることで、業務が動くという形に変わります。

医事会計についても従来の会計カードは無くなり、各病棟、各外来診察室および各部門で実施入力を完了した段階で会計情報が医事データへ飛び、診療費の算定、会計処理が可能となっているわけです。

現在は、円滑な電子カルテの稼働開始に向けて様々な作業を進めています。一部の機能については 1 月 4 日からすぐに使えないものも残っていますが、1 月中には使用出来るよう鋭意準備を進めています。

この電子化により、患者さんには、診察や検査、会計などの待ち時間が短縮され、医療の高度化や効率化が図れるものと考えております。しかし、導入当初は職員も不慣れな点があり、外来の受診方法の変更や入院時における本人確認のための方法等が現行と大きく変更になりますので、何かとご不便をおかけすることもあるかもしれません。

電子カルテ導入にあたりましては細心の注意をはらって参りますので、皆様のご理解とご協力を何とぞ宜しくお願いいたします。



第66回 国立病院機構総合医学会

「人工股関節置換術の脱臼予防に対する指導効果」に関する発表

西1病棟 看護師 丸山 知美

2012年11月16日(金)、17日(土)の2日間、神戸市で第66回国立病院機構総合医学会が開催されました。本学会のテーマは、「国立医療 未来と希望のきずな」です。

今回私は「人工股関節置換術の脱臼予防に対するDVDを用いた指導効果～回復時期に合わせた指導を試みて～」というテーマでポスターセッションをさせていただきました。患者さんのADLの状態とニーズに合わせた脱臼予防に関する退院指導を行うために、手術後の回復時期に合わせてDVDを2期に分け、回復時期に適した指導が行えたか検証し、報告しました。同じように人工股関節置換術の脱臼予防の指導を行っている病院もあり、情報の共有が行えました。

学会終了後は、神戸の異人館や神戸牛を食し、京都にも足を運びお寺や紅葉を見てきました。素晴らしい景観に感動し、リフレッシュしてきました。

今回の経験をもとに、今後の退院支援や指導に活かしていきたいと思います。

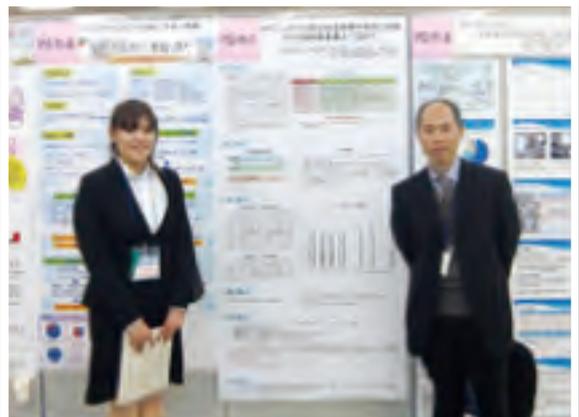
NSTにおける臨床検査技師の役割と課題
—RTP院内検査導入に向けて—

臨床検査科 塩谷 香奈

第66回国立病院機構総合医学会が神戸国際会議場・神戸国際展示場にて開催されました。今回のテーマは「未来と希望のきずな」で、昨年発生した東日本大震災の困難・混乱から復興しつつある現状や、地域連携を深めた医療提供を目指すという諸状況からこのテーマとなったようです。

さて、今回「NSTにおける臨床検査技師の役割と課題-RTP院内検査導入に向けて」と題し、栄養・NST・褥瘡部門にて発表させていただきました。NST(Nutrition Support Team:栄養サポートチーム)とは栄養管理を行う多職種チームをさします。医師、看護師、栄養士等が中心となり結成されていますが、我々臨床検査技師もこのメンバーに含まれています。NSTにおける臨床検査技師は採血提示を行っていましたが、さらなる参画の必要性を感じ、RTP院内検査導入を機に、役割と課題について考えました。RTP(Rapid Turnover Protein)とは採血時の栄養状態を評価できる項目です。これまでは主に、アルブミン(Alb)で栄養状態を評価していました。このデータでは採血時点より約二週間前の栄養状態を反映した値であり、現時点での患者さんの状態把握が難しい、という点がありました。そこで外科部長である伊藤先生の提案でRTP検査の院内導入が始まり、より詳細な栄養状態を評価することが可能となりました。RTPを検査することで栄養療法の開始や終了の見極めができるようになり、低栄養に陥っている患者さんの診断治療に貢献できるようになりました。また今年から、臨床検査技師も病棟回診へ積極的に参加するようになり、NSTとのさらなる連携強化を考えております。

学会終了後は、阪神淡路大震災の爪後を全く感じさせない美しい街並みの神戸駅周辺を、一日も早い東北地方の復興を願いながら散歩しました。



平成24年度第1回目の市民公開講座が開催されました

庶務班長 田澤 雅博

平成24年10月6日(土)午後1時30分から、パーティとちぎ男女共同参画センターにおいて、平成24年度第1回目の市民公開講座が開催されました。

この市民公開講座は、栃木県の地域医療に係る県民協働事業の一環として行われており、栃木県及び宇都宮市の後援を頂いております。

参加者は211名と、非常にたくさんの方々にご参加いただき、栃木県以外から参加していただいた方も7名おりました。また、何を通して今回の市民公開講座を知ったのかというアンケートでは、多かった順に、当院外来のパンフレット、知人・友人から聞いた、職員から聞いた、新聞で知った、かかりつけ医で知った、との回答がありました。

講演は、先ず、脊椎に関する講演「そうだったのか!高齢者脊椎疾患・治療のAtoZ」を茶藺昌明整形外科副部長より、次に、関節に関する講演「関節の痛みの治療最前線～骨・軟骨の再生医療まで～」を田中孝明副院長より、各1時間行っていただき、それぞれ講演後の質疑では活発な意見が寄せられました。

また、田中副院長の講演終了後には、田中先生が手術をした患者さんから、感謝の意を込めて花束が贈呈されるというサプライズもあり、大変盛況な公開講座となりました。

市民公開講座開催に当たり、参加していただいた皆様、各関係機関や地域の方々、関係職員のご協力により、無事終了出来たことに感謝いたします。役員を代表して、御礼を申し上げます。

次回の市民公開講座は、平成25年3月2日(土)に開催する予定です。詳細が決まりましたら、各関係機関へお知らせさせて頂くと共に、当院ホームページや院内にてお知らせいたしますので、是非ご参加して頂きますようお願いいたします。



新型CT装置を導入しました

放射線科 小林 俊昭

昨年のMRI装置導入に続き、今年は最新鋭64列CT装置を導入しました。

患者さんには12月中レンタルCTにてご不自由な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。平成25年1月から稼働により格段と性能が向上し皆様への負担も軽減できることと思われまます。皆様に息を止めていただく時間が短くなり、最大75%の被ばく線量を低減することができます。また、画像ノイズ低減により微細な病変も明瞭に確認することができ、幅広く診断に役立てられることと思われまます。寝台幅も広く、機械の開口部も広がったため皆様の窮屈感も低減されます。そのため成人、小児でも安心して検査を受けていただくことができるようになりました。今回の電子カルテ化に伴い検査後の待ち時間も解消され、迅速に検査結果が診察室まで届くようになりました。

当面は撮影や解析を習熟するまでは何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思われまます、迅速に適切な画像を提供できるよう努力してゆきたいと思ひます。



(東芝 マルチスライスCT Aquilion CXL)

クリスマスコンサートに参加して

医療社会事業専門員 斎藤 恵子

12月19日、職員によるギターを中心とした演奏(第1部)と、プロのハープ奏者・獨協医科大学管弦楽団をゲストに迎えて(第2部)クリスマスコンサートが行われました。おなじみのフォークソングからアニメ、クラシック、そしてクリスマスソングと幅広いジャンルのコンサートとなり、1時間半があっという間に過ぎていきました。途中、観客の方と一緒に声を合わせ全体が一体になる場面もあり大変感動しました。音楽を続けていて良かったと思う瞬間です。第2部ではプロのハープ奏者である高久美穂さんの演奏に全員うっとり。美しい音色がロビーを包みしました。

コンサートという日常にはない空間を通じて、多くの方に安らぎとこれからの活力につなげていくことができたならば大成功です。

少ない練習期間で心配もありましたが、観客の方の温かい応援ですてきなコンサートとなりました。これからも日々の練習成果が発揮できるよう頑張っていきます。興味のある方一緒に楽しみませんか？



重症心身障害児(者)が参加する行事

療育指導室 児童指導員 平山 剛史

皆さん、重症心身障害と言われる方々をご存知ですか？「重度の知的障害と重度の肢体不自由を併せ持つ」方で、当院には幅広い年齢の方が入院されています。自分で思うように身体を動かしたり、考えていることを言葉で伝えることがとても難しい方々です。重い障害を持ちながらも、ご家族の愛情と職員の援助を受けながら生き生きと生活されています。

1年間を通して、療育指導室が中心となって企画をする「新緑会」「スポーツフェスティバル」「戸外活動」「誕生会」「クリスマス会」など、利用者さんの状態に併せたやり方でたくさんの行事を行っています。利用者さんも行事が楽しみで眠れなくなる人もいます。利用者さんに楽しみにしてもらえ、そして行事の時の素敵な笑顔を見ると職員もとても嬉しい気持ちになります。

最近では、12月12日にクリスマス会を行いました。利用者さん、ご家族やボランティアの方々、また職員もみんなたくさん笑い、楽しい時間を過ごしました。引き続き、2013年も利用者さんにとって素晴らしい年となるように誰もが楽しめる行事を提供して参ります。



大好きな昼食の時間



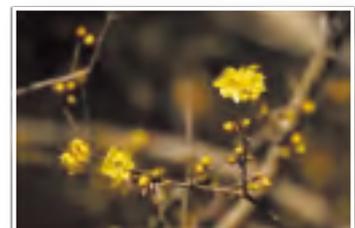
サンタからのクリスマスプレゼント

編集後記

皆様がこの号をお読みになっている頃は1月ですが、この原稿を書いているのは12月中旬で薬剤科も電子カルテ導入に向けて最後の詰め作業に入っている段階です。

四苦八苦しながらの作業ですが、当院のより良い医療の連携に役立てられればと思います。

薬剤師 山田 豪樹



【蜷梅】

表紙撮影：渡部孝夫さん(元放射線技師)

外来診療担当医表

(平成 25年 1月 1日現在)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科(初診・予約外)		沼尾利郎(1・3・5週)／ 吉川弥須子(2・4)	梅津 貴史	安西真紀子	滝澤秀典(1・3週) 沼尾利郎(2・4・5週)	崎尾 浩由
糖尿病・内分泌内科	午前	佐藤 稔	森 豊	友常 孝則	佐藤 稔	田中 精一
	午後	佐藤 稔	友常 孝則		佐藤 稔	
神経内科	午前	伊藤 雅史			大内 慶太	
	午後	伊藤 雅史			大内 慶太	
消化器内科	午前	星野 孝文	菅谷 洋子	紀 仁	眞島 雄一	菅谷 洋子
	午後		菅谷 洋子			菅谷 洋子
循環器内科	午前	西野 節 植竹(1・3・5)心工コー	伊藤 致	柴田 佳優		伊藤 致(2・4週)
	午後	西野 節	伊藤 致	柴田 佳優	森陽祐／森滋子 心工コー	伊藤 致(2・4週) 田中(1・3・5週)心工コー等
呼吸器内科	午前	池田 直哉	沼尾 利郎	滝澤 秀典	野村 由至	吉川弥須子
	午後	池田 直哉	沼尾 利郎／ 梅津 貴史	滝澤 秀典	野村 由至	吉川弥須子／ 崎尾 浩由
腎臓内科	午後				岡田和久(2・4週) [予約制]	
小児科	午後		影山さち子 (予防接種) [予約制]		影山さち子 子供養育相談ルーム [予約制](第2・4)	
小児神経外来	午後	奥野 章(3週) [予約制]				
外科	1 診	増田 典弘	伊藤 知和	滝田 純子	増田 典弘	伊藤 知和
	2 診	伊藤 知和	百目木 泰	増田 典弘	山口 悟	木村 明春
整形外科	1 診	田中 孝昭	茶藪 昌明 (初診のみ)	熊谷(第1・5週) 田中(第2・3・4週)	茶藪(第1・3・5週) 石川(第2・4週) (初診のみ)	熊谷 吉夫
	2 診	加藤 基樹		加藤(第1・5週) 茶藪(第2・4週) 熊谷(第3週)		加藤 基樹
リウマチ科 (整形外科1診)				熊谷(第1・5週) 田中(第2・3・4週)		
リハビリテーション科				茶藪 昌明	茶藪 昌明	熊谷 吉夫
装具外来	田中 孝昭					熊谷 吉夫
歯科(入院患者のみ)			渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
物忘れ外来(午後・予約制)				伊藤 雅史		
禁煙外来(午後・予約制)						沼尾 利郎
眼科(午後・予約制)						松原 忠之／
						永田万由美／ 和泉田真作
皮膚科(午後・予約制)				小田佐智子		
耳鼻咽喉科(午後・予約制)		久保木章仁／ 常見泰弘				

外来受診案内

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30～11:00迄です。
緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科・物忘れ外来・禁煙外来は、地域医療連携室にて電話予約を受け付けています。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374 (直通) FAX 028-673-1961 (直通)
担当 (ソーシャルワーカー)：永山悦子・宇梶多恵 (内線133)



独立行政法人(NHO)

国立病院機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160

TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148

http://un-hosp.jp/